

令和8年度第1回小牧市快適で清潔なまちづくり協議会 議事要旨

日 時	令和8年8月3日（月）午前9時30分～午前10時30分	
場 所	小牧市役所 本庁舎6階 601会議室	
出席者	【委員】※敬称略 谷田貝 将典 小牧市議会 佐橋 倫明 小牧市区長会連合会 西影 篤範 一般社団法人愛知県トラック協会 市岡 信英 尾張中央農業協同組合 佐藤 龍司 小牧小売酒販組合 澤木 厚司 小牧市社会福祉協議会 長谷川 宜史 小牧商工会議所 鈴木 直美 愛知県たばこ販売協同組合 井田 亮 大成環境株式会社 佐藤 彰高 小牧ライオンズクラブ 今枝 正 こまき環境市民会議 中野 芹奈 小牧市国際交流協会 高木 花織 小牧市小中学校長会 ◎田中 容子 小牧市女性の会 穂積 徹 小牧市小中学校PTA連絡協議会 安江 銀次 こまき市民活動ネットワーク ○野村 勝彦 小牧市老人クラブ連合会 船橋 鐸夫 小牧スカウト連絡協議会 （◎会長 ○副会長） 【事務局】 小川 真治 市民生活部長 堀田 正二 市民生活部次長 梅村 知成 環境保全課長 古川 朋和 環境保全課保全美化係長 丹羽菜穂子 環境保全課保全美化係主任 佐藤 翔太 環境保全課保全美化係主事 橋本 絹子 環境保全課保全美化係員	
欠席者	筒井健太郎 一般社団法人小牧青年会議所 佐藤大五郎 小牧ロータリークラブ ※敬称略	
傍聴者	0名	
配布資料	・次第 ・委嘱状 【資料1】 小牧市快適で清潔なまちづくり条例及び施行規則（抜粋） 【資料2】 小牧市快適で清潔なまちづくり協議会委員名簿 【資料3】 令和7年度快適で清潔なまちづくり推進事業実績報告 【資料4】 令和7年度「環境美化」年間参加人数 【資料5】 令和8年度快適で清潔なまちづくり推進事業計画 【資料6】 令和8年度「ごみ散乱防止市民行動の日～小牧まち美化ウォーク」実施報告について	

主な内容

- 1 委嘱状交付
市民憲章唱和、委嘱状交付
- 2 あいさつ
副市長挨拶、事務局自己紹介
- 3 小牧市快適で清潔なまちづくり協議会について
 - ・資料1に基づき、協議会の概要について説明。
 - ・質疑応答なし。
- 4 議事
 - (1) 会長及び副会長の選出について
 - ・会長：田中委員 副会長：野村委員
 - (2) 令和7年度快適で清潔なまちづくり推進事業実績報告について
 - ・資料3・4に基づき、令和7年度実績報告について説明。
 - (3) 令和8年度快適で清潔なまちづくり推進事業計画について
 - ・資料5に基づき、令和8年度事業計画について説明。
 - (4) 令和8年度ごみ散乱防止市民行動の日～小牧まち美化ウォーク～実施報告について
 - ・資料6に基づき、令和8年度実施報告について説明

○意見等

(4) ごみ散乱防止市民行動の日～小牧まち美化ウォークの開催について (谷田貝委員)

毎年参加する中で、まちが綺麗になってごみが拾えないこと、特定のコースに集中するという点を踏まえると地域での開催は大変有効だと思う。しかし、地域で開催した場合に参加人数がバランスよく分散するかどうか、団体がバラバラになり、チームワークがとれないといった課題もあるため十分な検討が必要である。また、一斉に行動するという観点では、地域での開催は別の機会として考えても良いのではと思う。

(西影委員)

毎年団体として参加をする中で、参加者も増え、拾うことができるごみが少なくなっているのは感じている。しかし、4コースについては200人程度の参加者が繁華街の住宅地前を集団で移動する状況であるので、コースの細分化をした方が良い。このようなイベントは抑止力にもなり、せっかくごみゼロの日に開催するのでメイン会場とサブ会場での一斉開催も有効ではないかと思う。

(谷田貝委員)

地域で開催するのはとても良い案だが、やはり一斉での開催が望ましい。例えば防災訓練のように小学校単位で開催し、順番に開催場所を変更しながら開催すれば、数年かけて小牧市全体で開催でき、その地域を知らない方が地域を知ることにもできる。駐車場等の課題も考慮して検討すると良いと思う。

(井田委員)

警備として参加した。今回は警備の人数を3人から7人に増員していただいた。7人のうち3人は自社のメンバーだったので連携をとって対応できたが、どうしても行列ができ、また列が分かれてしまうため、警備はできれば1コースにつき7人、少なくとも5人は必要だと感じた。イベントとしては年々良いものとなっていると感じる。

(事務局)

交通安全に関しては、事務局も人員配置など配慮をしているが、まだ課題はあると考えている。安全第一に検討したい。

(長谷川委員)

最初は運営側として参加して途中からコースにも入って参加した。コースの後方はほぼゴミがなかったのが実態であった。

コースの増設や、会場の分散については、市のスタッフや警備の対応が可能であれば、有効な手法の一つと考えられる。しかし、コースを増やしても結構な参加者数であり、啓蒙のためのイベントという考え方でもあるため、列の後方のごみが少なくなるのはやむを得ないと考えている。

駐車場の課題もあり、過去に小牧山や市民会館で開催した際は小牧市役所の駐車場、市民会館なら駅前駐車場などの駐車場があり、例えばパークアリーナなど、駐車場が確保できる会場で駐車場の課題がクリアできれば、地域事情も分かるので色々な会場で開催することも1つの方法かと思う。

2点目の暑さ対策については、現在の開催月の5月は非常に暑く、開催月を変更することが可能であるのか。また、表彰式についてホームページやFacebook等を利用して公表して良いのであれば時間短縮につながると思う。

(事務局)

過去には、10月に市民会館で開催していたが、ゴミゼロの5月の時期と市の中心部の駅前場所での開催についてこの協議会で承認いただき、現在の形となっている。しかし、時期や場所について戻すことも選択肢に入れて議論いただきたい。

(田中会長)

コースから戻ってゴミをまとめている様子を見ると、4コースのゴミは少なかったが、長い1コースの方はゴミの量が多かったり、大きかったりなど、コースによって違いが見受けられた。1コースの中に短いコースと長いコースを作ることは可能か。

(事務局)

小牧山へ向かう1コースについては、先発隊がコース途中で折り返して、後発隊が小牧山まで向かうなど、2つのコースに分けることは可能である。ただし、参加者にとって分かりにくくなる面もあるため、検討の余地はある。

(長谷川委員)

10月に開催している大山川クリーンアップと小牧まち美化ウォークを一斉に開催したことが過去にあったが、一斉に開催すると参加者が減る可能性があり、また別日に開催すると、10月は市民まつりもあり、暑さも残っていることから、10月の開催は難しいかと思う。

(事務局)

随時ご意見を伺いたいと考えているので、お気付きの点があれば事務局まで連絡いただきたい。

以上